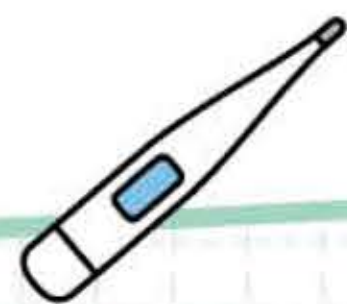


ドクターマジックの Medical & Health Talk メディカル & ヘルス・トーク



日本の2030問題とは？

日本はあと5年で、65歳以上の人口の割合が30%を超え、少子高齢化の加速、医療人材不足、財政難、医療機関老朽化、地域格差、独居老人、がん患者や認知症増加、医療介護労働の人材不足といった社会問題が懸念されています。この現実を受け、厚労省は①働き方改革によるシニア人材確保②AIやロボットの活用③地域間の連携強化④オンライン診療⑤再生医療⑥攻めの予防医学といった方針を打ち出しています。特に2030年には約3万人の医師不足、約70万人の介護不足で、2人で1人の高齢者を支えることになります。さらに財政難で自己負担増、無医村地区約500カ所で約10万人に影響、約1600カ所の老朽化病院費用が5兆円と、暗黒医療時代が目前に迫っているのです。

1973年のすごい映画

そこで思い出すのが、私が医学生のとときに見たチャールトン・ヘストン主演の映画「ソイレント・グリーン (Soylent Green)」。環境破壊と資源枯渇、人口爆発と都市の崩壊、食料危機と代替食品、少子高齢化と安楽死、人材

不足とロボット介護、老朽化施設などまさに2030問題そのものの時代設定の物語です。

主人公の刑事が殺人犯を追って、政府管理のソイレント・グリーン工場の介護施設に侵入します。そこでは車椅子の老人に美しい女性看護師が、ボタンのスイッチで「あなたが1番楽しかった思い出は？好きな食べ物は？音楽は？好きな人は？」と聞いて入力すると、360度パノラマの映像に囲まれる中、海で戯れる若かりし頃の老人の思い出の映像と、好きだった曲を涙を流して聴きながら、老人は安楽死へと導かれます。はたして代替食材「ソイレント・グリーン」とは……？ぜひこの映画を見てください。原作は、米国のSF作家ハリイ・ハリスンの1966年の小説「人間がいっ



「人間がいっぱい」の原作者ハリイ・ハリスン (Wikimedia Commons CC BY-SA 3.0 Dmitry Rozhkov)

ぱい(原題: Make Room! Make Room!)」です。

フィリピンの2030は？

フィリピンも下記のような事態が起こり得る2030問題を抱えています。

- ①人口爆発と都市の過密化：人口1億3000万人となって日本を抜き、マニラ首都圏は住宅不足と交通渋滞、学校や病院は「2交代制」へ。
- ②高齢化の進行と医療体制の未整備：65歳以上が1400万人、高齢化率10%。医療保険制度が未整備、貧困層は自己負担で慢性疾患(高血圧や糖尿病)急増、予防医学や健康診断の整備が不十分。
- ③医療人材の海外流出と地域格差：医師や看護師の70%が海外へ出稼ぎへ、国内には30%。地方のバランガイは慢性的医療人材不足、特に看護師は25万人が不足。
- ④医療施設の老朽化とインフラ不足：7000を超える島からなる国の地理的条件もあり、医療機器の多くが中古品でメンテナンス体制が不十分。

未来に向けた可能性は？

約30年前に、太平洋戦争時の激戦地フィリピン・レイテ島で慰霊活動を始め、STCクリニック

STC メディカル国際 クリニック

日本人医師常駐

日本語対応



STC メディカル国際クリニックはフィリピン各地で医療ボランティア&マジックショーを行っています。



診療科目

内科 / 皮膚科：各種レーザー施術、フィラー、ボトックス施術、IPL (老斑、アザ等除去) 施術、リフティング、その他 / **歯科**：審美歯科、矯正、インプラント、補綴 / **鍼灸科 / 再生医療 / 健康診断**

旅行保険対応



Tel : (02) 8425-5273

STC Medical International Clinic
517 Alonzo St., Malate, Manila

Email : mayakon007@yahoo.co.jp (日本語対応)

日本では東京上野マイホームクリニックと連携しております。Tel : 03-5834-3459

